

with/after コロナの世界で、

働くための空間を

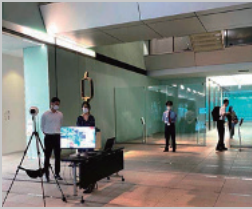
切り拓くには。

未来へ導く7つのヒント

with コロナ —— with コロナ社会において、いま私たちができること。

COVID19 に対し、現状の建築を活かしながら安心のワークスペースを作り出す項目

エントランス — お客様・来訪者の安全を守ります



- ・体温チェック
- ・セキュリティ解除のタッチレス化
- ・受付での非接触
- ・IT による3密の見える化

階段・EV — 階段の積極利用で非接触に



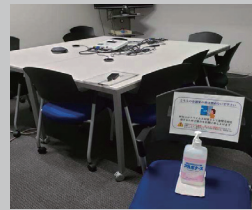
- ・階段入口扉の開放
(常時開放式防火戸への改修)
- ・抗菌手摺採用
- ・階段動線の複層化
- ・EV タッチレス化

執務室 — パーティション高さの目安は床から 1400



- ・密をさける千鳥の席配置
- ・デスクへのパーテーション
- ・自ら使える除菌アイテムの近接配置
- ・ソーシャルディスタンスを示す
- ・2.0mのグラフィックサイン
- ・位置情報可視化による3密回避

会議室 — 運用面の改善から



- ・個室会議室の大部屋化
- ・打合せテーブルへのパーテーション配置
- ・扉の開け放し運用
- ・自ら使える除菌アイテムの近接配置
- ・オープン会議室のサウンドマスキング

建具 — 触れなければ衛生が保たれます



- ・現状ドアハンドルの肘対応化
- ・非接触のための自動ドア化

換気 — 換気は感染リスクを低減する



- ・換気性能の見える化
- ・気流分布と換気効率の適正化
- ・換気量の増強
- ・エアフィルターによる感染リスクの低減
- ・自然換気システムの導入

トイレ — タッチレスと拡散防止がキーになります



- ・便器洗浄操作の非接触化
- ・便器蓋の設置・自動化
- ・洗面台、流し台等の自動水栓化
- ・トイレブース扉の自動化

食堂 — 食べる場所こそ安全を



- ・テーブルへのパーテーション配置
- ・片側椅子配置
- ・集中利用の回避(時間利用を分ける)
- ・提供メニューのパッケージ化